

ジャズでつながる横浜の街!ジャズプロ・サテライト

YPAM フリンジ 2025 参加公演



The Marginal History of FREE JAZZ in Japan

「周縁」と「痕跡」から考える日本フリージャズ史

2025 年 11 月 29 日 (土)

16:00 ~ 18:00 (開場 15:30)

会場 Art Center NEW

横浜市西区みなとみらい 5-1

みなとみらい線 新高島駅 地下 1 階

全席自由 / 前売 1,500 円、当日 2,000 円

工藤遥

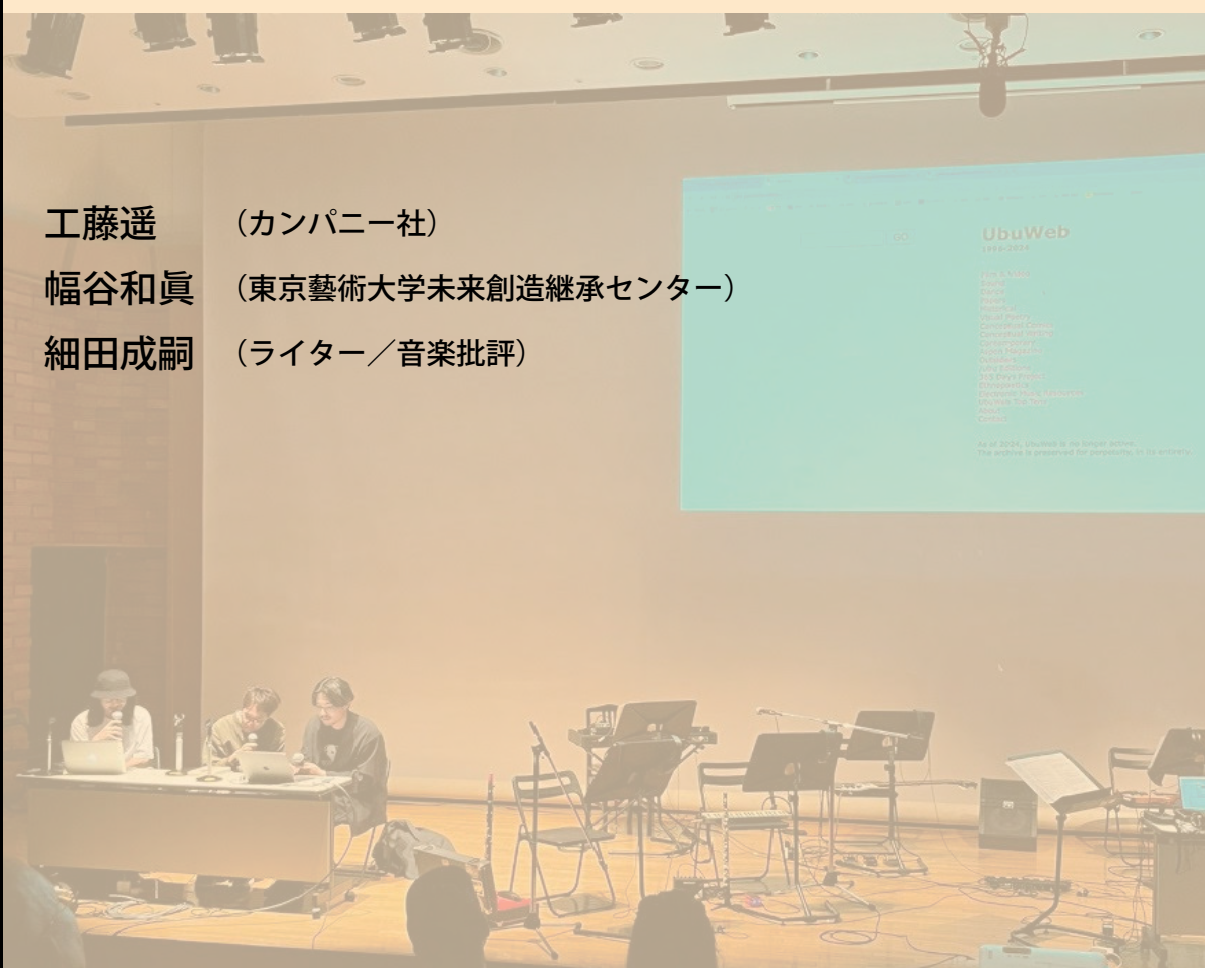
(カンパニー社)

幅谷和真

(東京藝術大学未来創造継承センター)

細田成嗣

(ライター / 音楽批評)



主催：公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

共催：横濱 JAZZ PROMENADE 実行委員会

協力：Art Center NEW (一般社団法人 Ongoing)

問合：横濱 JAZZ PROMENADE 実行委員会 (TEL 045-211-1510)



「周縁」と「痕跡」から考える日本フリージャズ史

日本初のフリージャズ・グループと言われた富樫雅彦カルテットの誕生から 60 年。わずか数カ月で解散した同グループはレコードを出しておらず、参加メンバーや現場を目撃した批評家、観客の語りなどを通じてその存在が後世に伝えられてきた。そのように、日本のフリージャズの歴史においては、レコードは残されていないものの音以外の様々な「痕跡」を介して受け継がれてきたグループや試みがある。フリージャズという前衛的／実験的な性格ゆえに、むしろ音だけでは把握しきれない表現も少なくない。そこで今回の講演では、今日の芸術系大学のアーカイヴの役割を整理しつつ、批評、聴衆、写真、映像、広告など音楽の「周縁」に残された「痕跡」へと目を向けることによって、非記録的な芸術実践の記録はいかに残っていくのかを考えるとともに、フリージャズを時間的／空間的な広がりのある文化的現象として語るための「周縁」的なものの重要性について検討する。

工藤遥 KUDO Haruka

1986 年生まれ。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了（音楽文化学）。研究領域はフリー・ジャズ文化史、音盤蒐集学。音楽書を中心とした出版社「カンパニー社」代表。CD やレコード、本などを扱うオンラインショップ「p.minor」運営。訳書にジョン・コルベット『フリー・インプロヴィゼーション聴取の手引き』。



幅谷和真 HABAYA Kazuma

東京藝術大学未来創造継承センター 特任助教。アーキビスト。共編著に『アート×リサーチ×アーカイヴ』（月曜社、2025 年）。領域横断的な芸術文化活動のアーカイブズの構築に関わる一方、個人のアーカイブ／研究活動として国内の即興／実験音楽に関する資料蒐集や情報ネットワークの形成に取り組む。



細田成嗣 HOSODA Narushi

1989 年生まれ。ライター／音楽批評。編著に『A A 五十年後のアルバート・アイラー』（カンパニー社、2021 年）。フリージャズ、即興音楽、ノイズ、アンビエント、サウンドアート、実験音楽、アジア近隣諸国の前衛的な音楽などについて執筆活動を展開。インタビュー多数担当。イベントのオーガナイズも手掛ける。



プレイガイド

YPAM チケットサイト

<https://ypam.jp/ticket/p/fr30/index.html>



- 当日券は会場受付にて開演 30 分前から販売します。
ただし前売完売時は販売はありません。
- 会場は寒い場合があります。
防寒対策をしてご来場ください。

ジャズプロ・サテライト

横浜の秋を代表するフェスティバル「横浜 JAZZ PROMENADE」（通称ジャズプロ）。「ジャズプロ・サテライト」は、より多くの会場で多種多彩なラインナップを楽しんでいただこうと、横浜市内の文化施設と連携して 2021 年から始まりました。本年 2025 年 6 月にオープンしたばかりの Art Center NEW では、はじめての開催となります。